

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島女学院大学
設置者名	学校法人広島女学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人文学部	国際英語学科	夜・通信	16	0	64	80	13	
	日本文化学科	夜・通信	16		72	88	13	
人間生活学部	生活デザイン学科	夜・通信	16	-	178	194	13	
	生活デザイン・建築学科	夜・通信	36		156	192	13	
	管理栄養学科	夜・通信	16		103	119	13	
	児童教育学科	夜・通信	18		66	84	13	
	幼児教育心理学科	夜・通信	40		104	144	13	
国際教養学部	国際教養学科	夜・通信	36		164	200	13	
(備考) ・2018年度募集停止：国際教養学部国際教養学科、人間生活学部生活デザイン・建築学科、人間生活学部幼児教育心理学科 ・2018年度改組（届出）：人文学部国際英語学科、人文学部日本文化学科、人間生活学部生活デザイン学科、人間生活学部児童教育学科								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「シラバス」トップページで「備考」に「実務」の単語を入力し検索する。 <a href="https://asm-ediea.com/hju/open/ja/syllabuses">https://asm-ediea.com/hju/open/ja/syllabuses</a> 上記サイトで「実務経験のある教員による授業科目一覧」が参照できる。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名：なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島女学院大学
設置者名	学校法人広島女学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人広島女学院 Web サイト「役員名簿」：  
<https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/directorlist.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	元官公庁職員	2015.6.30 ~ 2023.5.31	理事長
非常勤	元官公庁職員 自動車メーカー前社外取締役	2014.5.23 ~ 2023.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	金融機関社外監査役 小売業前取締役相談役	2015.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考) 本法人理事 13 名のうち、9 名が学外者			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島女学院大学
設置者名	学校法人広島女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスの構成は、授業の形態、授業目的、授業全体の到達目標（ルーブリック評価）、授業計画（授業回ごとの内容・到達目標・予習/復習の内容と所要時間）、授業成果、成績評価の方法、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、テキスト、参考図書、実務教員の科目となっている。</li> <li>・シラバス作成の課程             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 12月：開講科目ならびに科目担当教員がおおむね確定し、総合学生支援センター教務課から、該当教員に「シラバス（授業計画）作成について（お願い）」と「シラバス登録マニュアル」を配布。シラバスに関するFD研修会実施</li> <li>② 1月：シラバス作成・登録期間</li> <li>③ 2月：第三者確認を行い、それを受けて修正</li> <li>④ 3月末：Web上に新年度シラバスを公開</li> </ol> </li> <li>・教員には、第1回で履修者にシラバスを配布し、授業開始時ごとに本日のテーマ（概要）と到達目標を学生に説明するように要請している。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学 Web サイト「教育情報の公表」→「5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること」→シラバス <a href="https://asm-ediea.com/hju/open/ja/syllabuses">https://asm-ediea.com/hju/open/ja/syllabuses</a></li> <li>・学内ポータルサイト</li> </ul>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与える、又は、履修を認定する。科目担当教員は、各学生の学修成果に基づき、あらかじめシラバスに記載し公開している「到達目標（ルーブリック評価）」と「成績評価の方法（授業参加態度、試験(学期末テスト・小テスト)、レポート、発表、成果物、等)」をもとに本学修学規則第10条の成績評価基準に従って評価を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【成績評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績を評価する基準としてGPAを採用している。</li> <li>・担当教員が科目ごとにあらかじめ示した評価方法と修学規則第10条の成績評価基準に</li> </ul>	

<p>基づき「成績評価素点」を算出し、GPに換算する。</p> <p>・GPA算出方法：成績平均点(GPA) = (科目単位数×成績評価点)の和 ÷ 総履修単位数</p> <p><b>【成績の分布状況の把握】</b></p> <p>学務委員会において、科目別、教員別ならびに学科学年ごとの前年度GPA分布状況データを提示している。2019年度からは、大学Webサイトに学科学年ごとの前年度GPA分布状況データを公開している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学Web「大学案内」→「成績評価と成績評価基準」  <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/record.php">https://www.hju.ac.jp/guide/record.php</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>以下のような卒業の認定に関する方針や学生の習得単位数を踏まえ、卒業を認定している。</p> <p>(1) 広島女学院大学</p> <p><b>【卒業の認定に関する方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DP1 (ぶれない個)  豊かな教養と専門的知識を通して、冷静な判断力と決断力を兼ね備えた「ぶれない個」を形成し、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる</li> <li>・DP2 (多様性)  自己と他者の多様な価値観・生き方を発見し、責任を持って受容し、他者との共生を実現することができる</li> <li>・DP3 (寛容と協働)  寛容の精神をもって他者を受容し、自己の女性としての特性を活かしながら、他者と協働し、地域社会および国際社会に貢献できる</li> </ul> <p><b>【卒業の要件・判定の手順】</b></p> <p>本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、定められた単位を含む124単位以上を修得した者に対し、学長は教授会の議を経て卒業を認定し、学士の学位を授与する。</p> <p>(2) 人文学部</p> <p>① 国際英語学科</p> <p>国際英語学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士(文学)の学位を授与する。</p> <p><b>【学位授与の諸要件】</b></p> <p>学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者</p> <p><b>【資質】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DP1 (ぶれない個)  言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察に基づき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができる</li> <li>・DP2 (多様性)  自己の文化や異文化を理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる</li> <li>・DP3 (寛容と協働)  現代社会が直面する諸問題に対して主体的に関わり、他者と相互に尊重しあい協働することによって、継続してその解決に取り組むことができる</li> <li>・DP4 (文化の把握)  英米を中心とした英語圏の文化を多面的に分析し理解することにより、自国の文化の特質を捉えなおすことができる</li> </ul>	

- ・ DP5 (共時的発信力)

国際社会における出来事を的確に把握し、英語を用いてグローバルな観点から自己の考えや意見を伝えるとともに積極的に行動することができる

## ② 日本文化学科

日本文化学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（文学）の学位を授与する。

### 【学位授与の諸要件】

学則第 13 条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

### 【資質】

- ・ DP1 (ぶれない個)

日本の言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察に基づき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができる

- ・ DP2 (多様性)

日本文化と他の文化を比較・理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる

- ・ DP3 (寛容と協働)

現代社会が直面する諸問題に対して主体的に関わり、他者と相互に尊重しあい協働することによって、継続してその解決に取り組むことができる

- ・ DP4 (文化の把握)

日本固有の文化や伝統を尊び、多角的に理解を深めることによって、次世代へその特徴や意義を継承し発展させていくことができる

- ・ DP5 (共時的発信力)

世界の中の日本、世界の中の自己という視点を身につけることによって、国際社会のニーズを的確に察知し、専門的知見や技能を活かしながら積極的に行動することができる

## (3) 国際教養学部 (2017 年度入学まで)

国際教養学部・国際教養学科は、所定の修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得し、以下の素養を身につけ、かつ卒業論文審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（国際教養）の学位を授与する。

1. 常に社会的公正を希求し、キリスト教主義に基づく人間愛にあふれる豊かな人間性と倫理観
2. 幅広い教養と国際感覚に裏打ちされた専門的な知識・技能
3. 国際的な視野と身の周りへの細やかな配慮に基づく問題発見・解決能力

## (4) 人間生活学部

### ① 生活デザイン学科

生活デザイン学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（家政学）の学位を授与する。

### 【学位授与の諸要件】

学則第 13 条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

### 【資質】

- ・ DP1 (ぶれない個)

地域・生活に関わる知識、技能を用いて、豊かな生活を創造する発想力を持つことができる

- ・ DP2 (多様性)

人々の生活や価値観の多様性を理解し、地域環境・生活環境を構成する事象を多面的に捉え、よりよい暮らしを提案することができる

・DP3（寛容と協働）

地域の人々の声を受け止め、ニーズに即した行動し、他者と協働することで、家庭生活から地域環境までの問題解決に貢献できる

② 管理栄養学科

管理栄養学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（家政学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・DP1（ぶれない個）

科学的根拠に基づいた栄養・健康管理の専門知識と技術を身につけ、確固たる食と健康の専門家として、倫理観と実践力をもって、社会貢献をめざすことができる

・DP2（多様性）

「食」を大切に、「食」を通して病気の人、高齢者、子どもなどあらゆる人に寄り添い、対象者に合わせた栄養・健康管理が実践できる

・DP3（寛容と協働）

地域住民や行政、団体と連携して、生活者の目線に立った食育や栄養改善等が実践できるとともに、食文化の違いを理解、受容し、さまざまな食問題を考えることができる

③ 児童教育学科

児童教育学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（教育学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・DP1（ぶれない個）

豊かな教養と国際的な視野、専門的知識を身につけ、専門資格取得を通して、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる

・DP2（多様性）

心理学的な視点から人間の心身の発達過程や多様性を理解し、子どもと子どもを取り巻く人々や自己の価値観・生き方、文化的背景の多様性を受容できる

・DP3（寛容と協働）

寛容の精神をもって他者と協働し、子どもの生活支援、発達支援、学習支援を行うための具体的方法を構想できる

・DP4（専門知識・技能）

子どもの遊びや生活、学びを支援できる知識・技能と表現力、コミュニケーション力を身につけることができる

・DP5（子育て支援）

家庭・地域社会において子育て支援を行うための知識・技能と実践力を身につけることができる

(5) 人間生活学部（2017年度入学生まで）

健康で豊かな人間生活を創造し支援していくことのできる専門家としての知識と技術を修得し、社会に貢献しようとする態度を身につけている。また、専門的な知識・技術にとどまらず幅広い教養を身につけるとともに、人間としての基本的な資質であ

る社会性やコミュニケーション力等を身につけていることを人間生活学部における学位授与の要件とする。

① 生活デザイン・建築学科 (2017年度入学生まで)

生活デザイン・建築学科は、本学科の教育課程において、所定の修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけ、かつ卒業論文審査に合格した学生に対して「学士(家政学)」の学位を授与する。

1. 被服・ファッション、インテリア・住居・建築に関する教養・専門知識・技術
2. 社会に適合し、活躍するために必要な人間関係形成能力および問題解決能力
3. 社会および家庭において、生活の向上と地域、福祉のために貢献できる能力

② 管理栄養学科 (2017年度入学生まで)

管理栄養学科は、本学科の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に対して「学士(家政学)」の学位を授与する。

1. 健康増進、健康障害の治療・再発防止等に関わる食の知識を深め、対象に合わせた食事管理を行う能力
2. ライフステージ・ライフスタイル、疾病による人体の変化を理解し、対象に合わせた栄養・健康管理を実践できる能力
3. 倫理観をもって、円滑なコミュニケーションをはかりながら対象者の生活の質の向上に貢献できる能力

③ 幼児教育心理学科 (2017年度入学生まで)

幼児教育心理学科は、本学科の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に対して「学士(幼児教育心理学)」の学位を授与する。

1. 心理学の視点から子どもの心身の発達過程を理解し、子どもの遊びや学びを支援することのできる知識・技能と豊かな表現力
2. 子どもの生活支援・発達支援・学習支援を行うための具体的な方法を構想する力
3. 家庭・地域社会において子育て支援を行うための基本的な知識・技術

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

- ・本学 Web サイト「ディプロマ・ポリシー」  
<https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php>
- ・『カリキュラム・ブック』

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島女学院大学
設置者名	学校法人広島女学院

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	・本学 Web サイト「教育情報の公表」→「10. 事業計画及び財務に関すること」→「財務情報について」(または法人サイト「情報公開」) <a href="https://www.hju.ac.jp/houjin/disclosure/">https://www.hju.ac.jp/houjin/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

### 2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:「事業計画」 対象年度:2020年度)
公表方法:本学 Web サイト「教育情報の公表」→「10. 事業計画及び財務に関すること」→「事業報告について」→法人サイト「情報公開」→「事業計画について」 <a href="https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2020plan_3.pdf">https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2020plan_3.pdf</a>
中長期計画(名称:「第2次中期計画」 対象年度:2018~2022年度)
公表方法:本学 Web サイト「教育情報の公表」→「10. 事業計画及び財務に関すること」→「事業報告について」→法人サイト「情報公開」→「中期計画について」→「第2次中期計画」 <a href="https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2nd-keikaku.pdf">https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2nd-keikaku.pdf</a>

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学 Web サイト「大学案内」→「大学の評価・取り組み」→「点検・評価」→「自己点検・評価及び改善報告」→「点検・評価報告書(2018年度)」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/inc/pdf/20190326-tenken.pdf">https://www.hju.ac.jp/guide/inc/pdf/20190326-tenken.pdf</a>
--

#### (2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学 Web サイト「大学案内」→「大学の評価・取り組み」→「点検・評価」→「広島女学院大学に対する大学評価」→「自己点検・評価及び改善報告」→「大学基準協会による認証評価結果(2018年度)」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/inc/pdf/20190326-kekka.pdf">https://www.hju.ac.jp/guide/inc/pdf/20190326-kekka.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト） 「学部・学科の人材養成に関する目的と教育研究上の目的」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyokumokuteki.php">https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyokumokuteki.php</a>
(概要) 【人文学部（2018 年 4 月開設）】 言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察に基づき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができ、自己の文化や異文化を理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる人材を養成する。さらに、現代社会が直面する諸問題に対して主体的に関わり、他者と相互に尊重しあい女性のライフキャリアを通して協働することによって、継続してその解決に取り組むことができる人材を養成する。 キャリア・スタディ・プログラムを通じてキャリア形成の基盤を成す言語力を習得させ、アカデミック・リサーチを通じて批判的思考力と問題解決力を習得させる。さらに、フィールドワーク、地域連携、海外研修、インターンシップなどの科目を設け体験的学修の機会を提供することで、行動力や実践力を習得させる。  (1) 国際英語学科（2018 年 4 月開設） 国際共通語としての実践的な英語力を身につけ、多文化への理解と柔軟な対応を兼ね備え、自国の文化をも理解した上で、グローバル社会で活躍する人材を養成する。特に一定の基準を超えた英語力を有する学生のために、GSE(Global Studies in English)コースを用意し、国際社会で貢献できる人材を養成する。 英米を中心とした英語圏の文化を多面的に分析し理解するとともに、自国の文化の特質を捉えなおすことで、国際社会における出来事を的確に把握する力を習得させる。その上で、英語を用いてグローバルな観点から自己の考えや意見を伝えるとともに、積極的に行動することができる力を習得させる。  (2) 日本文化学科（2018 年 4 月開設） 日本語や日本の文学・文化を深く理解し、日本の文化を世界に発信する力を語学教育や異文化コミュニケーション教育などにより育み、地域やグローバル社会に貢献できる人材を養成する。日本固有の文化や伝統を尊び、多角的に理解を深めることによって、次世代へその特徴や意義を発展させていくことができ、世界の中の日本、世界の中の自己という視点を身につけることによって、国際社会のニーズを的確に察知し、専門的知見や技能を活かしながら積極的に行動することができる力を習得させる。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイト） 「ディプロマ・ポリシー」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php">https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php</a>
(概要) (1) 広島女学院大学 【卒業の認定に関する方針】 ・ DP1（ぶれない個） 豊かな教養と専門的知識を通して、冷静な判断力と決断力を兼ね備えた「ぶれない個」を形成し、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる ・ DP2（多様性）

自己と他者の多様な価値観・生き方を発見し、責任を持って受容し、他者との共生を実現することができる

・ DP3 (寛容と協働)

寛容の精神をもって他者を受容し、自己の女性としての特性を活かしながら、他者と協働し、地域社会および国際社会に貢献できる

【卒業の要件・判定の手順】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、定められた単位を含む124単位以上を修得した者に対し、学長は教授会の議を経て卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(2) 国際英語学科

国際英語学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（文学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・ DP1 (ぶれない個)

言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察に基づき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができる

・ DP2 (多様性)

自己の文化や異文化を理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる

・ DP3 (寛容と協働)

現代社会が直面する諸問題に対して主体的に関わり、他者と相互に尊重しあい協働することによって、継続してその解決に取り組むことができる

・ DP4 (文化の把握)

英米を中心とした英語圏の文化を多面的に分析し理解することにより、自国の文化の特質を捉えなおすことができる

・ DP5 (共時的発信力)

国際社会における出来事を的確に把握し、英語を用いてグローバルな観点から自己の考えや意見を伝えるとともに積極的に行動することができる

(3) 日本文化学科

日本文化学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（文学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・ DP1 (ぶれない個)

日本の言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察に基づき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができる

・ DP2 (多様性)

日本文化と他の文化を比較・理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる

・ DP3 (寛容と協働)

現代社会が直面する諸問題に対して主体的に関わり、他者と相互に尊重しあい協働することによって、継続してその解決に取り組むことができる

・ DP4 (伝統の継承)

日本固有の文化や伝統を尊び、多角的に理解を深めることによって、次世代へその特徴や意義を継承し発展させていくことができる

・DP5 (共時的発信力)

世界の中の日本、世界の中の自己という視点を身につけることによって、国際社会のニーズを的確に察知し、専門的知見や技能を活かしながら積極的に行動することができる

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 本学 Web サイト)

「カリキュラム・ポリシー」 <https://www.hju.ac.jp/guide/curriculum-policy.php>

(概要)

(1) 広島女学院大学

- ・CP1. 大学の教育課程は、全学共通の「基礎科目」「ライフキャリア科目」と、各学科の専門科目である「専門科目」「関連科目Ⅰ」「関連科目Ⅱ」から編成される。
- ・CP2. 「基礎科目」の学修目標は、ア.主体的な学びの態度と他者との協働、イ.キリスト教主義に基づく人格形成、ウ.基礎学力とし、すべて必修科目である。
- ・CP3. 「ライフキャリア科目」は、生涯にわたって女性のライフキャリアを支える根幹を形成することを目標とし、必修科目「キャリアプランニング」「女性とライフキャリア」と選択科目からなり、選択科目は「自己との関係科目群」「他者との関係科目群」「社会との関係科目群」「その他科目群」で構成される。

(2) 国際英語学科

- ・CP1. 基礎科目、ライフキャリア科目の修得を土台とした深い専門性を身につけることのできるカリキュラムとなっている。
- ・CP2. 国際英語学科は、ほぼすべての授業科目を英語で行う GSE (Global Studies in English) コースと、英語圏の文化を多面的に学ぶ英語文化コースから成り、英語の使えるグローバル人材を育成する。
- ・CP3. 専門科目では言語の習熟に必要なスキル科目及びより高度な学修につながる内容科目を設置している。
- ・CP4. すべての学年にセミナー授業を取り入れ、1年次から2年次までキャリア・スタディ・プログラムを通じてキャリア形成の基盤を成す言語力を育成し、3年次からはアカデミック・リサーチを通じて批判的思考力と問題解決力を養う。
- ・CP5. 行動力や実践力を養うため、フィールドワーク、地域連携、海外研修、インターンシップなどの科目を設け体験的学修の機会を提供する。

(3) 日本文化学科

- ・CP1. 基礎科目、ライフキャリア科目の修得を土台とした深い専門性を身につけることのできるカリキュラムとなっている。
- ・CP2. 専門科目では言語の習熟に必要なスキル科目及びより高度な学修につながる内容科目を設置している。
- ・CP3. すべての学年にセミナー授業を取り入れ、1年次から2年次までキャリア・スタディ・プログラムを通じてキャリア形成の基盤を成す言語力を育成し、3年次からはアカデミック・リサーチを通じて批判的思考力と問題解決力を養う。
- ・CP4. 行動力や実践力を養うため、フィールドワーク、地域連携、海外研修、インターンシップなどの科目を設け体験的学修の機会を提供する。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 本学 Web サイト)

「アドミッション・ポリシー」 <https://www.hju.ac.jp/guide/admission-policy.php>

(概要)

(1) 広島女学院大学

「キリスト教主義に基づく人格教育」という本学の建学の精神に理解ある女性、すなわち大学での学びは自分を幸せにするためだけではなく、広く他者の幸せを望む「隣人愛」の精神に共鳴できる女性、そして長い人生と広い世界を視野に入れながら学び続ける女性を迎え入れる。

(2) 人文学部

人文学部は、言語や文化についての豊かな教養、専門的知識及び深い洞察にもとづき、幅広い視野に立って確固たる自己を社会の中で位置づけることができ、自己の文化や異文化を理解することによって多様な価値観を受容し、高い言語運用能力をもって他者との円滑な関係を築くことができる人材を養成する。本学部の各学科では、この目的をふまえたうえで学科の目標に応じた入学者受入れの方針を定め、入学者の選抜を行う。

(3) 国際英語学科

国際英語学科は、国際共通語としての実践的な英語力を身につけ、多文化への理解と柔軟な対応を兼ね備え、自国の文化をも理解した上で、グローバル社会で活躍する人材を養成する。入学者選抜にあたっては、入学者受入れの方針を次のとおり定めている。

【知識・技能】

AP1. 学士課程教育を受けるに必要な基礎的知識を習得している

AP2. 自分の考えを日本語または英語で他者にわかりやすく文章表現できる

【思考力・判断力・表現力】

AP3. 言語や文化に関わる事象を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる

【主体性・多様性・協働性】

AP4. 言語や文化に関するさまざまな問題に関心を持ち、身につけた知識や技能を、これらの解決に役立てたいと考えている

(4) 日本文化学科

日本文化学科は、日本語や日本の文学・文化を深く理解し、日本の文化を世界に発信する力を語学教育や異文化コミュニケーション教育などにより育み、地域やグローバル社会に貢献できる人材を養成する。入学者選抜にあたっては、入学者受入れの方針を次のとおり定めている。

【知識・技能】

AP1. 学士課程教育を受けるに必要な基礎的知識を習得している

AP2. 自分の考えを日本語で他者にわかりやすく文章表現できる

【思考力・判断力・表現力】

AP3. 言語や文化に関わる事象を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる

【主体性・多様性・協働性】

AP4. 言語や文化に関するさまざまな問題に関心を持ち、身につけた知識や技能を、これらの解決に役立てたいと考えている

<p>学部等名 国際教養学部(2017年度入学生まで)</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト）  「学部・学科の人材養成に関する目的と教育研究上の目的」  <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyouiukumokuteki.php">https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyouiukumokuteki.php</a></p>
<p>(1) 国際教養学部 国際教養学科（2017年度入学生まで）  国際教養学部・国際教養学科は、多様な学問領域との対話を通して修得される幅広い教養と専門的な知識、グローバルな社会の変化に即応できるしなやかで鋭敏な視野と感性、客観的・論理的・批判的な思考力と問題解決能力、そして、建学の精神であるキリスト教主義に基づく人間愛などを備えた、確固たる人格を有する女性を教育することを目的とする。すなわち、国際化・情報化社会に対応できる言語運用力や技量を有する人材、国内外の様々な社会場面における課題を総合的に調査・考究し問題を解決できる人材、異民族や異文化の共存・共栄に貢献するために自己のあり方を極めることのできる人材を育成することを使命とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイト）  「ディプロマ・ポリシー」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php">https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php</a></p>
<p>(概要)  国際教養学部・国際教養学科は、所定の修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得し、以下の素養を身につけ、かつ卒業論文審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（国際教養）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 常に社会的公正を希求し、キリスト教主義に基づく人間愛にあふれる豊かな人間性と倫理観</li> <li>2. 幅広い教養と国際感覚に裏打ちされた専門的な知識・技能</li> <li>3. 国際的な視野と身の回りへの細やかな配慮に基づく問題発見・解決能力</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイト）  「カリキュラム・ポリシー」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/curriculum-policy.php">https://www.hju.ac.jp/guide/curriculum-policy.php</a></p>
<p>(概要)  学部・学科設置の趣旨および理念、教育方針に基づき編成された教育課程の特色は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 13の専攻プログラム（メジャー）を置き、多様な学修を可能にする教育環境を整備している。</li> <li>2. メジャー選択を通じて、自発的な学修設計とその達成を体験できるカリキュラムとなっている。</li> <li>3. ほとんどのメジャーにフィールドワーク系の科目を置き、国内外の研修地における実践的・体験的学修の機会を提供するとともに、できるだけ多くの学生がフィールドワークに参加することを奨励している。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト）  「アドミッション・ポリシー」 <a href="https://www.hju.ac.jp/guide/admission-policy.php">https://www.hju.ac.jp/guide/admission-policy.php</a></p>
<p>(概要)  (1) 国際教養学部（2017年度入学生まで）  国際的な視野をもって、社会的公正を常に求め、地域に根ざして活躍したい人</p> <p>(2) 国際教養学科</p>

- ・環境や貧困、紛争、差別などに関わる世界的な課題に関心をもち、その解決のために広く深く学びたいという意欲をもつ人
- ・都市や地域の文化・芸術に関心をもち、その探求に意欲をもつ人
- ・国際化する日本における文学や文化に関心をもち、その固有性と普遍性との関連について学ぶ意欲をもつ人

学部等名 人間生活学部

教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト）

「学部・学科の人材養成に関する目的と教育研究上の目的」

<https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyouikumokuteki.php>

（概要）

【人間生活学部（2018年4月開設）】

多様な問題が存在する現代社会において、人々が健康で豊かな生活を創造し、次の世代へ普遍的な価値を継承していくことで、生活の質を向上させ真の人間性を確立することができるよう支援し、家庭および地域社会において女性のライフキャリアを通して貢献できる人材を養成する。さらに人間生活の基本となる〈衣・食・住〉および〈育〉の分野で、被服と住居・建築、健康と食・栄養、および保育・教育と子育て支援についての高度な知識・技能を身につけ、実践していくことのできる専門家を養成することを目的とする。

豊かな衣生活および住生活の実現に向けて創意工夫し社会で応用する力、科学的な視点で食や健康の諸問題を発見し改善策を見出し実践できる力、子どもの内面を深く洞察し子どもの主体的な人間形成を支援する力を身につけ、生活デザインと住居・建築、健康と食・栄養、幼児教育・児童教育の領域において女性としての感性と創造性を発揮する態度、優れたコミュニケーション力、及び強い倫理観と実践力を習得させる。

(1) 生活デザイン学科（2018年4月開設）

地域・生活に関わる知識・技能を用いて、豊かな生活を創造する発想力を持ち、人々の生活や価値観の多様性を理解し、地域・生活環境を構成する事象を多面的に捉え、よりよい暮らしを提案することができる人材を養成する。

さらに、地域の人々の声を受け止め、ニーズに即した行動、および他者との協働によって地域・家庭生活の問題解決に貢献できる人材を養成する。生活環境・生活空間に関わる専門知識・専門技術を用いて、生活を豊かにするものづくりに主体的に関わることができ、人々の生活や価値観の多様性を理解し、生活を構成する事象を多面的に捉えることができる力を習得させる。

また、幅広い学問の知識を融合して、オリジナルな感性から地域資源を発掘し、地域を創造する発想力、グローバルな視点から地域社会が固有に持つ特性を理解し、活性化に向けた計画を生み出し得る力を習得させる。さらに、一極集中の現代において、各個人が置かれた地域でそれぞれの能力を活かして、生涯を通して具体的に貢献できる力を習得させる。

(2) 管理栄養学科

管理栄養士が果たすべき多様な専門領域に関する知識、技能、態度、考え方の基本的能力を養い、対象にあわせた栄養・健康管理法を身につけた人材を養成する。さらに、根拠に基づいた栄養の科学と生活を結びつけながら、実際の食事や食行動に対する改善策を具現化でき、倫理観と実践力をもって、社会の変化や、国民、地域住民、傷病者等の要請に的確に対応し、健康や生活の質（QOL）の向上を提案することができる食と健康の専門家として、社会に貢献できる人材を養成する。健康増進、健康障害の治療・再発防止等に関わる食の知識を深め、対象にあわせた食事管理を行う能力を習得させる。あわせて、ライフステージ・ライフスタイル、疾病による人体の変化を

理解し、対象にあわせた栄養・健康管理を実践できる能力を習得させる。さらに、倫理観を持って、円滑なコミュニケーションを図りながら、対象者の生活の質の向上に貢献できる能力を習得させる。

(3) 児童教育学科 (2018年4月開設)

子どもの心身の発達過程を理解し、生活支援・発達支援・学習支援のための具体的な方法を構想することができ、子どもの遊びや学びを支援するために必要な知識・技能を身につけ、子どもの心に寄り添いながら援助することができる人材を養成する。さらに、地域社会における子育て支援、保護者等への相談・助言を行うための基本的な知識・技能を身につけ、自らの活動を振り返りながら実践していくことで、社会の現代的ニーズに積極的に応えることができる人材を養成する。

人間の心身の発達過程や多様性を理解し、子どもと子どもを取り巻く人々や自己の価値観・生き方、文化的背景の多様性を受容し、寛容の精神をもって子どもの生活支援、発達支援、学習支援を行うための具体的な方法を構想できる力を習得させる。また、子どもの遊びや生活、学びを支援できる知識・技能と表現力、コミュニケーション力を身につけ、家庭・地域社会において子育て支援を行うための実践力を習得させる。

卒業の認定に関する方針 (公表方法: 本学 Web サイト)

「ディプロマ・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php>

(概要)

以下のような卒業の認定に関する方針や学生の習得単位数を踏まえ、卒業を認定している。

(1) 広島女学院大学

【卒業の認定に関する方針】

- ・ DP1 (ぶれない個)  
豊かな教養と専門的知識を通して、冷静な判断力と決断力を兼ね備えた「ぶれない個」を形成し、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる
- ・ DP2 (多様性)  
自己と他者の多様な価値観・生き方を発見し、責任を持って受容し、他者との共生を実現することができる
- ・ DP3 (寛容と協働)  
寛容の精神をもって他者を受容し、自己の女性としての特性を活かしながら、他者と協働し、地域社会および国際社会に貢献できる

【卒業の要件・判定の手順】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、定められた単位を含む124単位以上を修得した者に対し、学長は教授会の議を経て卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(2) 生活デザイン学科

生活デザイン学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士(家政学)の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第13条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

- ・ DP1 (ぶれない個)  
地域・生活に関わる知識、技能を用いて、豊かな生活を創造する発想力を持つことができる
- ・ DP2 (多様性)

人々の生活や価値観の多様性を理解し、地域環境・生活環境を構成する事象を多面的に捉え、よりよい暮らしを提案することができる

・DP3（寛容と協働）

地域の人々の声を受け止め、ニーズに即した行動し、他者と協働することで、家庭生活から地域環境までの問題解決に貢献できる

(3) 管理栄養学科

管理栄養学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（家政学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第 13 条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・DP1（ぶれない個）

科学的根拠に基づいた栄養・健康管理の専門知識と技術を身につけ、確固たる食と健康の専門家として、倫理観と実践力をもって、社会貢献をめざすことができる

・DP2（多様性）

「食」を大切にし、「食」を通して病気の人、高齢者、子どもなどあらゆる人に寄り添い、対象者にあわせた栄養・健康管理が実践できる

・DP3（寛容と協働）

地域住民や行政、団体と連携して、生活者の目線に立った食育や栄養改善等が実践できるとともに、食文化の違いを理解、受容し、さまざまな食問題を考えることができる

(4) 児童教育学科

児童教育学科は、次の要件と資質を有している者に対して学士（教育学）の学位を授与する。

【学位授与の諸要件】

学則第 13 条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者

【資質】

・DP1（ぶれない個）

豊かな教養と国際的な視野、専門的知識を身につけ、専門資格取得を通して、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる

・DP2（多様性）

心理学的な視点から人間の心身の発達過程や多様性を理解し、子どもと子どもを取り巻く人々や自己の価値観・生き方、文化的背景の多様性を受容できる

・DP3（寛容と協働）

寛容の精神をもって他者と協働し、子どもの生活支援、発達支援、学習支援を行うための具体的方法を構想できる

・DP4（専門知識・技能）

子どもの遊びや生活、学びを支援できる知識・技能と表現力、コミュニケーション力を身につけることができる

・DP5（子育て支援）

家庭・地域社会において子育て支援を行うための知識・技能と実践力を身につけることができる

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイト）

「カリキュラム・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/curriculum-policy.php>

(概要)

(1) 広島女学院大学

- CP1. 大学の教育課程は、全学共通の「基礎科目」「ライフキャリア科目」と、各学科の専門科目である「専門科目」「関連科目Ⅰ」「関連科目Ⅱ」から編成される。
- CP2. 「基礎科目」の学修目標は、ア.主体的な学びの態度と他者との協働、イ.キリスト教主義に基づく人格形成、ウ.基礎学力とし、すべて必修科目である。
- CP3. 「ライフキャリア科目」は、生涯にわたって女性のライフキャリアを支える根幹を形成することを目標とし、必修科目「キャリアプランニング」「女性とライフキャリア」と選択科目からなり、選択科目は、「自己との関係科目群」「他者との関係科目群」「社会との関係科目群」「その他科目群」で構成される。

(2) 生活デザイン学科

- CP1. ものづくりや空間設計を地域環境の中で活かすために必要な専門知識、専門技術を修得する科目を設置する。
- CP2. 生活や価値観の多様性を理解し、生活を構成する事象を多面的に捉えるため、人々の生活や行動、歴史、文化、環境に関する科目を設置する。
- CP3. 生活を総合的に捉え、生活に関する問題への解決策を計画・デザインする力、提案する力、説明する力を養う科目を設置する。

(3) 管理栄養学科

- CP1. 人びとの健康増進の視点から系統的に学び、食と健康の専門家になるために必要な知識と技術を修得して、社会に貢献できる力を養う科目を設置する。
- CP2. ライフステージ・ライフスタイルにあわせた栄養・健康管理を学び、病気の人、高齢者、子どもなどに対して、「食」を通じた支援が実践できる力を養う科目を設置する。
- CP3. 食と健康に関して、課題発見・問題解決できる力を養う科目を設置する。

(4) 児童教育学科

- CP1. 1年次にインターンシップや観察実習を行い、2年次よりライフキャリアに応じた保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得できるようカリキュラムを編成する。
- CP2. 心理学の視点から子どもの発達過程を理解する力を養う科目を設置する。
- CP3. 子どもの生活支援、発達支援、学習支援を構想し実践する力を養う専門科目、グループワークを取り入れた科目を設置する。
- CP4. 保育、初等教育に必要な教科・領域の知識や技能を習得するための科目を設置する。
- CP5. 課題発見力、課題解決力、実践力を養う実習、セミナー科目を設置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト）

「アドミッション・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/admission-policy.php>

(概要)

(1) 広島女学院大学

「キリスト教主義に基づく人格教育」という本学の建学の精神に理解ある女性、すなわち大学での学びは自分を幸せにするためだけではなく、広く他者の幸せを望む「隣人愛」の精神に共鳴できる女性、そして長い人生と広い世界を視野に入れながら学び続ける女性を迎え入れる。

(2) 人間生活学部

多様な問題が存在する現代社会において、人々が健康で豊かな生活を創造し、次の世代へ普遍的な価値を継承していくことで、生活の質を向上させ真の人間性を確立することができるよう支援し、家庭および地域社会において女性のライフキャリアを通して貢献できる人材を養成する。さらに人間生活の基本となる〈衣・食・住〉および〈育〉の分野で、被服と住居・建築、健康と食・栄養、および保育・教育と子育て支援についての高度な知識・技能を身につけ、実践していくことのできる専門家を養成することを目的とする。本学部の各学科では、この目的をふまえたうえで学科の目標に応じた入学者受入れの方針を定めて、入学者の選抜を行う。

### (3) 生活デザイン学科

生活デザイン学科は、地域・生活に関わる知識・技能を用いて、豊かな生活を創造する発想力を持ち、人々の生活や価値観の多様性を理解し、地域・生活環境を構成する事象を多面的に捉え、よりよい暮らしを提案することができる人材を養成する。本学科では、この目的をふまえたうえで次の入学者受入れの方針を定めて、入学者の選抜を行う。

#### 【知識・技能】

- AP1. 高等学校で履修した教科・科目について、基礎的な知識を有している
- AP2. 自分の考えを日本語で他者にわかりやすく文章表現できる

#### 【思考力・判断力・表現力】

- AP3. ある事象を多面的に捉え、考察し、自分の考えをまとめることができる

#### 【主体性・多様性・協働性】

- AP4. 生活・地域におけるさまざまな問題に関心を持ち、身につけた専門知識や専門技術を解決のために役立てたいと考えている

### (4) 管理栄養学科

管理栄養学科では、管理栄養士が果たすべき多様な専門領域に関する知識、技能、態度、考え方の基本的能力を養い、対象に合わせた栄養・健康管理法を身につけた人材を育成する。さらに、科学的根拠に基づいた栄養の科学と生活を結びつけながら実際の食事や食行動に対する改善策を具現化でき、倫理観と実践力をもって、社会の変化や、国民、地域住民、傷病者等の要請に的確に対応し、健康や生活の質（QOL）の向上を考えられる食と健康の専門家として、社会に貢献できる人材を育成する。本学科では、この目的をふまえたうえで次の入学者受入れの方針を定めて、入学者の選抜を行う。

#### 【知識・技能】

- AP1. 科学的根拠に基づいた専門知識を身につけるため、高等学校で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している
- AP2. 自分の考えを日本語で他者にわかりやすく文章表現できる
- AP3. 高等学校で履修した調理の専門技術に関して、基礎的な技術を有している

#### 【思考力・判断力・表現力】

- AP4. あらゆる事象に対して、高等学校での経験や学習に基づいて、多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる

#### 【主体性・多様性・協働性】

- AP5. 食や健康に関するさまざまな問題に関心を持ち、身につけた知識や技能を、これらの解決に役立てたいと考えている

### (5) 児童教育学科

児童教育学科は、人間の心身の発達の高多様性を理解し、子どもと子どもを取り巻く人々や自己の価値観・生き方、文化的背景の高多様性を受容し、寛容の精神をもって子どもが生涯にわたり学習するための基盤を形成し、基礎的な知識・技能を習得することを支援するとともに、子どもが主体的に学習に取り組む態度を育成するために尽力

することができる人材を養成する。本学科では、この目的をふまえたうえで次の入学者受入れの方針を定めて、入学者の選抜を行う。

【知識・技能】

AP1. 高等学校で履修した主要教科について、基礎的知識を習得している

AP2. 音楽表現、造形表現、身体表現の基礎的技能を身につけている

【思考力・判断力・表現力】

AP3. ある事象について多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる

AP4. 自分の考えを言葉で他者にわかりやすく表現できる

【主体性・多様性・協働性】

AP5. 他者に共感し、協働することができる

AP6. 子どもや保育・教育に関するさまざまな問題に関心を持ち、身につけた知識や技能を、これらの解決に役立てたいと考えている。

学部等名 人間生活学部 (2017年度入学生まで)

教育研究上の目的 (公表方法: 本学 Web サイト)

「学部・学科の人材養成に関する目的と教育研究上の目的」

<https://www.hju.ac.jp/guide/jinzaikyouikumokuteki.php>

(概要)

(1) 人間生活学部 (2017年度入学生まで)

人間生活学部は、多様な問題が存在する現代社会において、人々が健康で豊かな生活を創造し、次の世代へ普遍的な価値を継承していくことで、生活の質を向上させ真の人間性を確立することができるよう支援し、家庭および地域社会において高度に貢献できる人材を育成する。

自己と隣人の生活の質を高めるために、豊かな衣生活および住生活の実現に向けて創意工夫し社会で応用する力、科学的な視点で食や健康の諸問題を発見し改善策を見出し実践できる力、子どもの内面を深く洞察し子どもの主体的な人間形成を支援する力を身につけ、生活デザインと住居・建築、健康と食・栄養、幼児・児童教育と心理学の領域において女性としての感性と創造性を発揮し、強い倫理観と実践力、コミュニケーション力を備え自立した専門家を養成することを目的とする。

(2) 生活デザイン・建築学科 (2017年度入学生まで)

生活デザイン・建築学科は、家政学の研究領域である「衣・住」の分野において、人間の身体および、その周辺環境である衣服、生活用品やインテリア、住居空間・建築・都市とその環境緑化等、人間の多様な生活空間・環境を統合し、よりよい生活空間をデザインする知識と技術を身につけさせる。さらに、デザインをするために必要な精神性をもった人材を養成し、社会・地域・家庭において幅広く貢献し、活躍できる能力を修得させる。

(3) 管理栄養学科 (2017年度入学生まで)

管理栄養学科は、食に関する知識と人体の構造や変化に関する知識を修得し栄養の科学を様々な角度から総合的に理解する力を養い、倫理観と実践力をもって、健康増進、健康障害の治療・再発防止等において、食を通して幅広く貢献できる専門家を育成する。

(4) 幼児教育心理学科 (2017年度入学生まで)

幼児教育心理学科は、キリスト教主義にもとづく人間教育の理念を基礎としながら、幼児期・児童期における子どもの人格形成を真に支援していくことのできる人材を育成する。その際に、心理学の基本的な知識を身につけ、子どもの内面を客観的かつ共感的に認識する資質を涵養することで、常に子どもの立場から援助できる保育

者・教育者となることを重視する。また、家庭や地域社会においても創造的な教育力を発揮することのできる人材の育成を目指す。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイト）

「ディプロマ・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/diploma-policy.php>

（概要）

(1) 人間生活学部（2017 年度入学生まで）

健康で豊かな人間生活を創造し支援していくことのできる専門家としての知識と技術を修得し、社会に貢献しようとする態度を身につけている。また、専門的な知識・技術にとどまらず幅広い教養を身につけるとともに、人間としての基本的な資質である社会性やコミュニケーション力等を身につけていることを人間生活学部における学位授与の要件とする。

(2) 生活デザイン・建築学科（2017 年度入学生まで）

生活デザイン・建築学科は、本学科の教育課程において、所定の修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけ、かつ卒業論文審査に合格した学生に対して「学士（家政学）」の学位を授与する。

1. 被服・ファッション、インテリア・住居・建築に関する教養・専門知識・技術
2. 社会に適合し、活躍するために必要な人間関係形成能力および問題解決能力
3. 社会および家庭において、生活の向上と地域、福祉のために貢献できる能力

(3) 管理栄養学科（2017 年度入学生まで）

管理栄養学科は、本学科の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に対して「学士（家政学）」の学位を授与する。

1. 健康増進、健康障害の治療・再発防止等に関わる食の知識を深め、対象に合わせた食事管理を行う能力
2. ライフステージ・ライフスタイル、疾病による人体の変化を理解し、対象に合わせた栄養・健康管理を実践できる能力
3. 倫理観をもって、円滑なコミュニケーションをはかりながら対象者の生活の質の向上に貢献できる能力

(4) 幼児教育心理学科（2017 年度入学生まで）

幼児教育心理学科は、本学科の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に対して「学士（幼児教育心理学）」の学位を授与する。

1. 心理学の視点から子どもの心身の発達過程を理解し、子どもの遊びや学びを支援することのできる知識・技能と豊かな表現力
2. 子どもの生活支援・発達支援・学習支援を行うための具体的な方法を構想する力
3. 家庭・地域社会において子育て支援を行うための基本的な知識・技術

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイト）

「カリキュラム・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/curriculum-policy.php>

（概要）

(1) 人間生活学部（2017 年度入学生まで）

幅広い教養と豊かな人間性を涵養するための科目を設けることで、人間生活に対して広い視野をもってかかわることができるようにする。さらに、各学科が目的とする健康で豊かな人間生活の支援に必要とされる専門性を身につけるための体系的な教育課程を編成し、各分野において実践的な知識・技術を修得し社会に貢献できる力を育成する。

(2) 生活デザイン・建築学科(2017年度入学生まで)

生活デザイン・建築学科は、被服・ファッション分野、インテリア・住居・建築の各分野で活躍し、社会に貢献することができる人材を養成するため、次のように科目群を設置する。

1. 被服・ファッション領域においては、服飾史・服飾美学、ファッションデザイン、ファッションビジネスに関する実践的基礎および応用能力を修得するための講義・演習・実習科目
2. インテリア・住居・建築領域においては、設計デザインに至る実践的基礎および応用能力を修得するための講義・演習・実習・実験科目
3. 大学における学びの集大成としての卒業研究セミナー、卒業論文（卒業制作等を含む）

(3) 管理栄養学科(2017年度入学生まで)

管理栄養学科は、食と健康の専門家として社会に貢献できる人材を育成するために、専門科目および関連科目ⅠⅡにおいて、次のように科目群配置する。

1. 食品・衛生、人体、健康増進の視点から系統的に学び、管理栄養士として必要な知識や技術の修得を目的とする科目
2. 課題発見・問題解決能力の育成をはかる卒業セミナー・卒業論文
3. 資格取得に関わる学修を行う関連科目

(4) 幼児教育心理学科(2017年度入学生まで)

1. 共通教養科目においては、資格取得に関わる専門科目に先立って、幅広い教養を身につけるための教養科目を設けた。
2. 幼児・児童教育の専門分野における学修へのレディネスを身につけるため、共通教養科目の中に、「心理学基礎論」「子どもと遊びⅠ～Ⅲ」等の科目群を配した。
3. 専門科目では幼児教育および心理学の専門を体系的に学修できるようにし、さらに関連科目において資格取得にかかわる発展的な学修ができるようにした。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト）

「アドミッション・ポリシー」<https://www.hju.ac.jp/guide/admission-policy.php>

(概要)

(1) 人間生活学部（2017年度入学生まで）

人間生活を支援するために必要な専門性を修得していくうえで基本となる学力だけでなく、幅広く知識を得ようとする勤勉で意欲的な学習態度をもつことを希望する。また、専門職に必要な行動力・適応力・思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力やボランティア活動などに積極的に参加しようとする行動力も大切だと考える。

(2) 生活デザイン・建築学科（2017年度入学生まで）

1. 生活デザイン、被服・ファッション、インテリア・住居・建築等に関心があり、専門知識と技術を習得したいという意欲をもつ人
2. アパレル業界、住居・建築業界等において、専門家（スペシャリスト）として活躍したいという意欲をもつ人
3. 中学校・高等学校において家庭科の教師になりたい人
4. デザイン力・美的感覚・感性を磨き、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につけたいという意欲をもつ人
5. 知的好奇心と探求心、向上心が強く、積極的に行動することができる人
6. 様々な社会的諸問題に関心を持ち、生活の向上と地域、福祉のために貢献したいという意欲をもつ人

(3) 管理栄養学科（2017年度入学生まで）

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校までの教育課程において、基礎的学力と思考力をもつ人</li> <li>2. 論理的・科学的視点で考える力をもつ人</li> <li>3. 学習意欲、自主性、適応力、協調性、行動力、表現力をもつ人</li> </ul> <p>(4) 幼児教育心理学科（2017年度入学生まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校の教育課程における基礎的内容を幅広く理解し、考える力、読む力、書く力をもつ人</li> <li>2. 社会性を身につけ、社会生活に必要なコミュニケーション力をもつ人</li> <li>3. 幼児教育に必要な表現力、文章力、発表力、および子どもを取り巻く環境に関心をもつ人</li> </ul>
--

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学 Web サイト 「学部学科・大学院構成」<a href="https://www.hju.ac.jp/guide/about-organization.php">https://www.hju.ac.jp/guide/about-organization.php</a></p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
人文学部	—	7人	5人	0人	0人	0人	12人
人間生活学部	—	19人	10人	4人	0人	0人	33人
共通教育部門	—	3人	3人	0人	4人	0人	10人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		132人				132人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		<p>公表方法：本学 Web サイト「大学案内」→「情報公開」→「教育情報の公開」→「3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること」</p> <p>学位「教員一覧」 <a href="https://www.hju.ac.jp/faculty/professors/index.php">https://www.hju.ac.jp/faculty/professors/index.php</a></p> <p>業績「大学教育研究実績」 <a href="https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2019report_7.pdf">https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2019report_7.pdf</a></p>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
1) 実施体制 a. 委員会の設置状況							
<p>学内における教育・研究活動の改善を目ざし、教員の教授能力開発等の促進を図るため、「ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会」を設置し、FD・SD 研修会の実施や学生による授業評価アンケートの実施と集計・評価等を行っている。</p>							
b. 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）							
<p>毎年、年3回（5・10・3月）開催しており、委員会は委員長及び各学科・共通教育部門から選出された委員をもって構成されている。委員が諸事情で参加できない場合は、必ず代理教員を立て情</p>							

報共有を行っており、職員からも教務課長と事務担当（秘書・広報課員）が陪席している。2019年度の開催状況は以下の通りである。

- ・2019年度〔第1回〕：2019. 6. 19 【参加率 100%】
- ・2019年度〔第2回〕：2019. 10. 23 【参加率 100%】
- ・2019年度〔第3回〕：2020. 3. 9 【参加率 100%】

## 2) 実施状況

### a. 2019年度の実施内容

- ・教学改善（シラバス，ルーブリック，カリキュラム・マネジメント等）についての研修会
- ・授業評価アンケートの実施・集計
- ・授業改善目標の設定・公開
- ・新任教職員のための研修会
- ・学生のコミュニケーション力を育むための研修会
- ・これからの大学入試改革に向けての研修会
- ・カリキュラムの評価設計と各科目の到達目標の設定（カリキュラム・マネジメントの確立）のための研修会
- ・学生の主体的な学びについての研修会
- ・大学生基礎力レポートからみる本学の特徴と指導についての研修会
- ・学外研修会（大学教育学会 2019年度課題研究集会等）への参加促進

### b. 実施方法

開催決定時と開催一週間前に、大学ポータルサイトにて開催通知を行っている。また、教員と職員が協働して業務に携われるようにFDとSDを合同開催する研修会では、FD委員長と事務局長の連名で開催通知を行っている。校務等で参加できなかった教職員については、後日、資料の配付を行うこととしている。

### c. 開催状況（教員の参加状況含む）

新任教職員のための研修会は、新任式の翌日に開催している。また、各研修会に於いては、事務局から学内ポータルサイトで開催通知を行うと共に、文書による案内も行うようにして積極的な参加を促すようにしている。また、教員の参加状況については学科によって多少の差が生じているが、平均して70%台後半から80%台前半の高い参加率を維持している。

2019年度の実施状況は以下の通りである。

- ・2019年度〔新任FD・SD研修会〕：2019. 4. 2 【教員参加率 100%】
- ・2019年度〔第1回FD・SD研修会〕：2019. 6. 5 【教員参加率 85.7%】
- ・2019年度〔第1回FD研修会〕：2019. 6. 26 【教員参加率 76.8%】
- ・2019年度〔第2回FD研修会〕：2019. 8. 7 【教員参加率 62.5%】
- ・2019年度〔第3回FD研修会〕：2019. 9. 17 【教員参加率 62.5%】
- ・2019年度〔第1回大学院FD研修会〕：2019. 9. 25 【教員参加率 86.1%】
- ・2019年度〔第2回FD・SD研修会〕：2019. 10. 30 【教員参加率 78.6%】
- ・2019年度〔第3回FD・SD研修会〕：2019. 11. 20 【教員参加率 78.2%】
- ・2019年度〔第4回FD研修会〕：2019. 12. 26 【教員参加率 67.3%】
- ・2019年度〔第5回FD研修会〕：2020. 1. 7 【教員参加率 85.5%】

### d. 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケートを実施・集計することで、様々な改善点が浮かんでくることを踏まえ、2014年度からアンケート結果を受けての授業改善目標を立てることを、全専任教員に義務付けている。2019年度の提出率は退職者と休職者を除き100%であり、アンケート結果と同様にWebに公開している。

## 3) 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a. 実施の有無及び実施時期

長らく授業評価アンケートを実施しているが、集計等を外部委託としていたことでアンケートが形骸化していると判断し、2015年度からアンケートをWeb実施すると同時に、集計業務も事務担当職員が対応することで問題点や改善点を即時に反映できる体制を整えた。また、学生の声を

早期に把握できるよう中間アンケートの実施等についても委員会で検討を行い、2018年度後期から実施している。

2019年度の実施時期は以下の通りである。

- ・2019年度〔前期中間〕：2019. 5. 21 ～ 2019. 6. 3 【全学回答率 55.2%】
- ・2019年度〔前期期末〕：2019. 7. 16 ～ 2019. 9. 4 【全学回答率 77.5%】
- ・2019年度〔後期中間〕：2019. 10. 21 ～ 2019. 11. 3 【全学回答率 50.1%】
- ・2019年度〔後期期末〕：2020. 1. 8 ～ 2020. 2. 17 【全学回答率 69.0%】

b. 教員や学生への公開状況、方法等

年度の集計結果は、冊子『学生による授業評価アンケート集計結果報告書』にまとめ、FD委員及び関連部署、希望する教職員等に配付している。

2014年度から全学・学年別・学科別の集計データを大学ホームページに公開し、一般からも閲覧可能な状態としている。2017年度秋学期からは、学科の学年別の集計データも追加公開とした。各科目の結果については、全科目を大学ポータルサイトに公開しており、教員や学生はいつでも自由に閲覧できる。さらに、2017年度から全専任教員の『授業改善目標』も大学ポータルサイトに公開し、その旨をメールにて学生に周知している。2019年度も公開を実施し、学生への周知も継続して行っている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	105人	95人	90.5%	315人	320人	101.6%	若干名	1人
人間生活学部 2018以後入学	225人	217人	90.5%	675人	682人	101.0%	若干名	1人
人間生活学部 2017以前入学	募集停止	募集停止		230人	190人	82.6%	若干名	0人
国際教養学部	募集停止	募集停止		240人	118人	49.2%	若干名	0人
合計	330人	312人	94.5%	1,460人	1,310人	89.7%	若干名	2人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際教養学部	99人 (100%)	2人 (2.0%)	88人 (88.9%)	9人 (9.1%)
人間生活学部	207人 (100%)	2人 (1.0%)	194人 (93.7%)	11人 (5.3%)
合計	306人 (100%)	4人 (1.3%)	282人 (92.2%)	20人 (6.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 日本航空、日本郵便、野村證券、博報堂プロダクツ、良品計画、大和ハウス工業、明治、国立病院機構、広島市				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
国際教養学部	110人 (100%)	89人 (85.7%)	10人 (7.1%)	11人 (10.0%)	人 (%)
人間生活学部	218人 (100%)	204人 (93.6%)	3人 (1.4%)	11人 (%)	人 (%)
合計	328人 (100%)	293人 (93.3%)	13人 (4.0%)	22人 (6.7%)	人 (%)

(備考) 2016年度入学生

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)  
卒業の認定に関する方針達成のため、各授業科目をカリキュラムマップに体系化している。年間の授業計画は、シラバスに記載し公表している。シラバスには、「授業の形態、授業目的、授業全体の到達目標（ルーブリック評価）、授業計画（授業回ごとの内容・到達目標・予習/復習の内容と所要時間）、授業成果、成績評価の方法、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、テキスト、参考図書、実務教員の科目であること」の項目を設けている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)  
学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定。科目担当教員は、各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定・公開している「到達目標（ルーブリック評価）」と「成績評価の方法（授業参加態度、試験(学期末テスト・小テスト)、レポート、発表、成果物、等)」をもとに本学修学規則第10条の成績評価基準に従って評価を行う。  
※ 様式第2号の3(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表「厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要3」の再掲

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	国際英語学科	124単位	有	年間49単位
	日本文化学科	124単位	有	年間49単位
人間生活学部 (2018年度以後入学生)	生活デザイン学科	124単位	有	年間49単位
	管理栄養学科	124単位	有	年間54単位
	児童教育学科	124単位	有	年間54単位
国際教養学部	国際教養学科	124単位	有	半期22単位
人間生活学部 (2017年度以前入学生)	生活デザイン・建築学科	124単位	有	半期22単位
	管理栄養学科	124単位	有	半期26単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：『カリキュラム・ブック』 活用：CAP制（前学期GPA2.3未満の者は履修登録上限単位数を22単位までとする。教職等の学外実習参加要件。		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：本学 Web サイト「大学案内」→「情報公開」→「教育情報の公開」→「7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること」  
<https://www.hju.ac.jp/guide/information.php>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人文学部	国際英語	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	GSE 専攻 (初年次)	624,000 円	250,000 円	280,000 円	
	GSE 専攻 (2 年次以降)	624,000 円	- 円	280,000 円	
	日本文化	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
人間生活	生活デザイン	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	児童教育	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	管理栄養	810,000 円	250,000 円	280,000 円	
国際教養 (2017 以前 入学生)	国際教養	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	GSE 専攻 (初年次)	624,000 円	250,000 円	280,000 円	
	GSE 専攻 (2 年次以降)	624,000 円	- 円	280,000 円	
人間生活 (2017 以前 入学生)	生活デザイン・ 建築	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	幼児教育心理	780,000 円	250,000 円	280,000 円	
	管理栄養	810,000 円	250,000 円	280,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員によるチューター制度を設け、履修、学生生活等に関する相談窓口となる。全学統一して各学期オリエンテーション期間中に面談を行う。</li> <li>・教務課は学科ごとに担当職員を配置している。</li> <li>・教務課に学修支援等を行うアカデミック・サポート・センターを置き、ラーニングアドバイザー（非常勤）を配置している。</li> <li>・特別なニーズを持つ学生の学修支援のため、障がい学生高等教育支援室を設置している。</li> </ul>
b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

学生一人ひとりが自己の生涯を見据えながら、ライフキャリアの構築をめざすことができるようキャリア教育を実施し、就職・進路選択の支援を行う。

キャリア教育については、学部・学科と連携しながら、初年次からキャリア形成に向けての意識づくりを開始し、4年間を通して一貫性のあるキャリア教育を実施する。就職・進路支援については、1～4年の各学年でガイダンスを実施することで、段階的に進路選択を進められるよう配慮する。就職に関するガイダンス、セミナー、各種講座、企業説明会等を多数開催することで進路選択のための多様な情報を提供するとともに、キャリアカウンセリングを充実させることで、学生の個性に応じた進路支援を推進する。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身の健康、保健衛生及び安全への配慮  
学生の心身の健康、保健衛生及び安全への配慮については、学生課が主となり、健康管理センター、学生相談室（カウンセリングルーム）、障がい学生高等教育支援室で対応している。また、月1回、精神科医師（学校医：精神科病院勤務の女性医師）による心の健康相談を実施している。

カウンセリングルームでは、専任カウンセラー1名、非常勤カウンセラー1名（週1回勤務）で学生の心理面における適応上の問題に対応している。また、4月のオリエンテーション時に新入生を対象とした心理検査（精神健康調査票）を実施し、学生の心身の健康状態を把握した上で、支援を要すると思われる学生をカウンセリングにつなげるよう配慮している。

健康管理センターとカウンセリングルームは、連携して学生の心身の健康支援を行っている。新入生に対しては、入学後のオリエンテーション期間中に定期健康診断と心理検査を実施し、保健師とカウンセラーで学生への結果のフィードバックを行っている。気になる学生、注意が必要な学生、特別な配慮が必要な学生等に関しては、総合学生支援センター長、学生課、健康管理センター、カウンセリングルーム、障がい学生高等教育支援室のスタッフによる情報交換会を定期的に開催し、情報の共有と支援方針の検討を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

- ・ 本学 Web サイト「大学案内」→「情報公開」→「教育情報の公開」→「3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること」→「教員一覧」  
<https://www.hju.ac.jp/faculty/professors/index.php>
- ・ 本学 Web サイト「大学案内」→「情報公開」→「教育情報の公開」→「10. 事業計画及び財務に関すること」→「事業報告について」→法人サイト「2019年度事業報告(大学)」  
[https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2019report\\_3.pdf](https://www.hju.ac.jp/houjin/pdf/2019report_3.pdf)
- ・ 大学：総合研究所 Web サイト『広島女学院大学受託研究シーズ集』  
<http://www2.hju.ac.jp/~souken/hjujutaku/jutaku.htm>
- ・ 冊子『広島女学院大学人文学部紀要』『広島女学院大学人間生活学部紀要』